

# 地域道路経済戦略研究会の 主な取組について(報告)

---

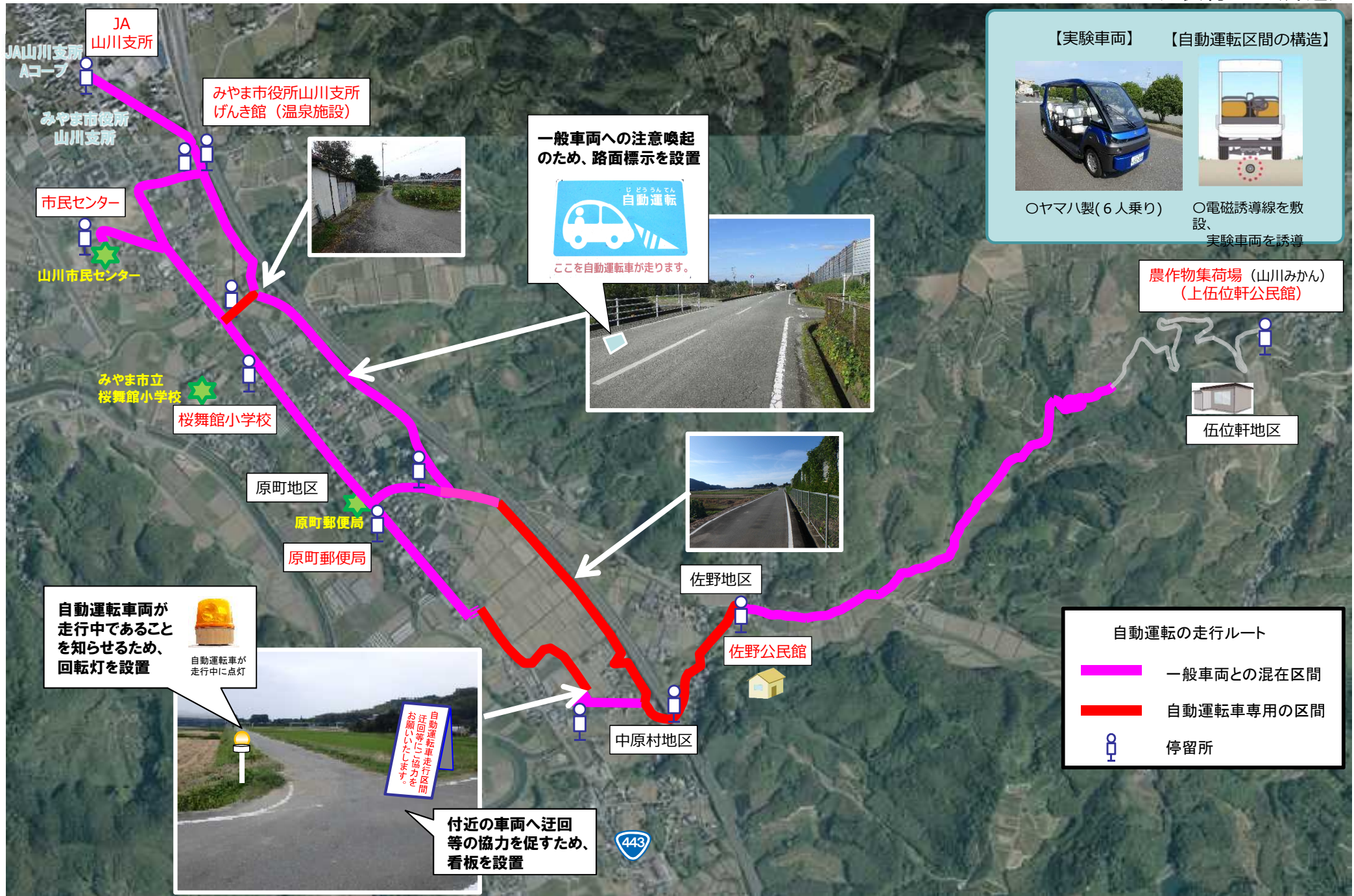
平成30年10月31日

実証実験	
H29年度 (2017)	<p><b>短期の実証実験(1週間程度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○主に技術的検証やビジネスモデルの検討</li><li>○全国13箇所を実施(総走行距離:約2,200km 参加者:約1,400人)</li></ul>
H30年度 (2018)	<p><b>長期の実証実験(1~2か月程度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○主にビジネスモデルの構築</li><li>○H29年度に実験を実施した13箇所のうち、車両調達の見通しやビジネスモデルの検討状況等を踏まえて、準備が整った箇所から順次実施</li><li>○翌年度以降の早期社会実装を目指す</li></ul> <p>(平成30年度は5~6箇所程度)</p> <p>※この他、H29年度のFS箇所のうち、地域での検討の熟度に応じて、順次実証実験を検討</p>

**「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指す**

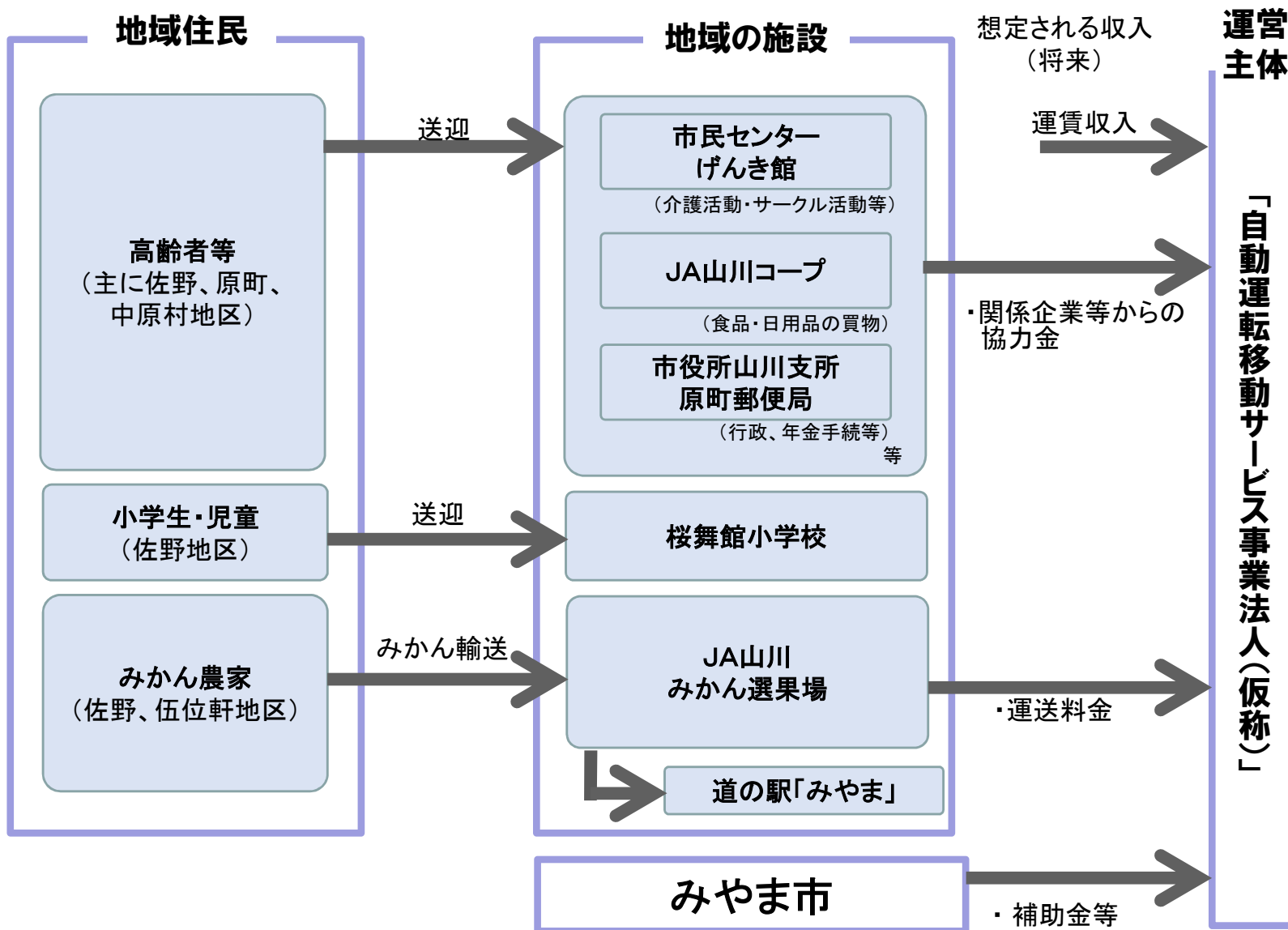
# 実証実験ルート(福岡県みやま市の実証実験の例)

延長約6km(片道)



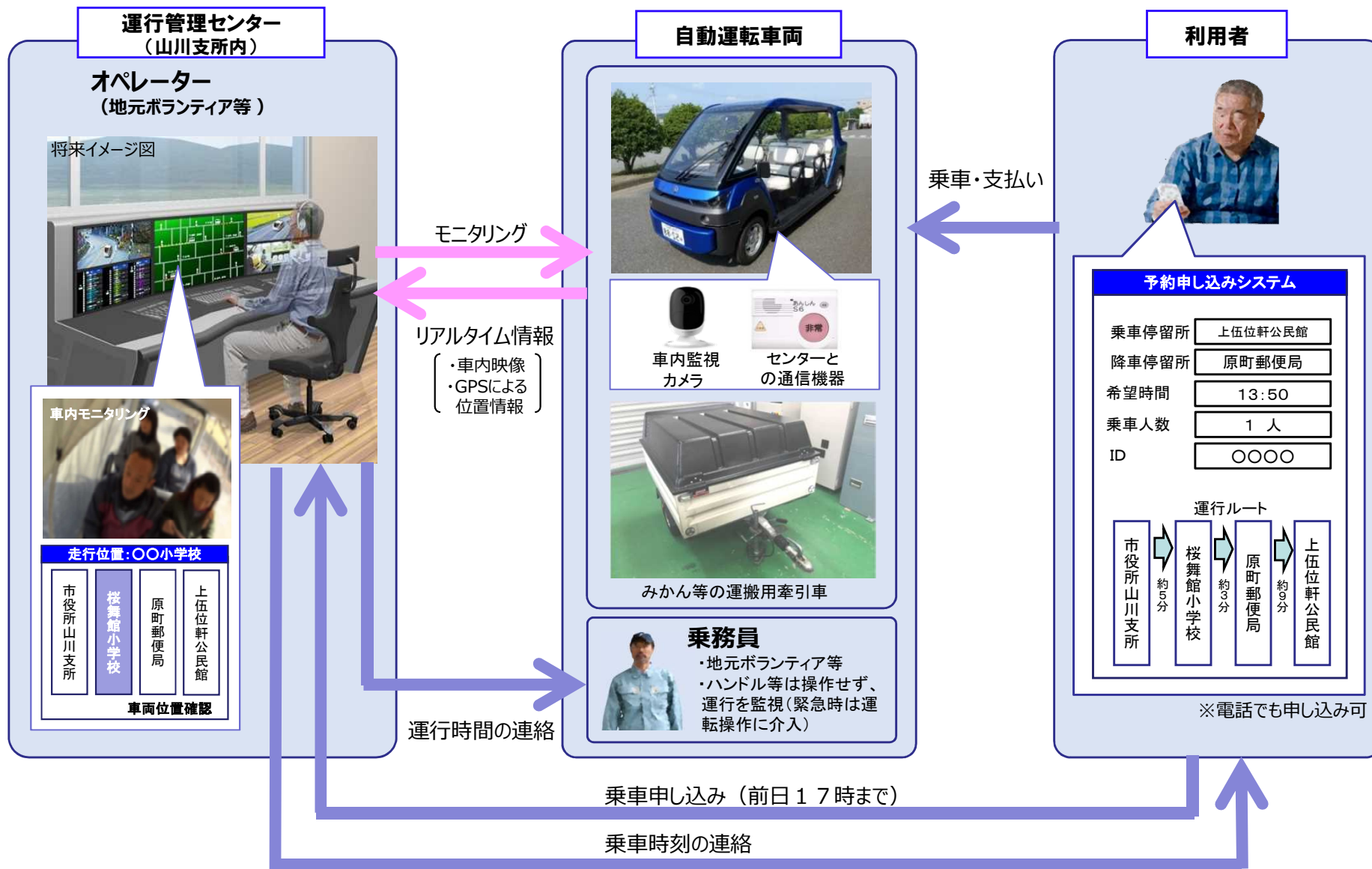
# 自動運転サービスのビジネスモデル(福岡県みやま市の実証実験の例)

- 高齢者等の送迎による外出機会(買物等)の増加を通じた関係企業等からの協力金や、介護活動等の実施による自治体からの補助金等による支援
- 地元特産の「山川みかん」の輸送による輸送料金の徴収



# 自動運転サービスの運行管理システム(福岡県みやま市の実証実験の例)

- みやま市役所山川支所内に運行管理センターを設置、車両からのリアルタイム情報をもとに運行状況をモニタリング。
- 利用者の申し込みに応じて運行するデマンド運行方式。利用者は、スマホや電話等を通じて乗車を申し込み、運行管理センターが利用者に乗車時刻を連絡。みかん輸送時も同様の方法で運行(運搬用の牽引車の活用)。



# 訪日外国人観光客レンタカーピンポイント事故対策

急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。

### ETC2.0等の急ブレーキデータ

### 外国人特有の事故危険箇所の特定

### レンタカー事業者の事故発生データ

### カラー舗装やピクトグラムを活用した標識

ピクトグラムを活用した案内標識

## ピンポイント事故対策 多言語注意看板



### 多言語パンフレット

Five Worst Accident Hotspots

Intersections with the most accidents in 2014 involving... (Data courtesy of Okinawa Prefectural Police Department)

http://www.sonpo.or.jp/protection/kousaten/kousatenmap26/

Kyu-Isa Intersection  
Collision prior to merging onto Rte. 58

事故の多い箇所を注意するパンフレットをレンタカー窓口で配布

外国人のレンタカー利用の多い空港※を中心とする5地域で平成29年秋から順次取組を開始

※ 新千歳空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港

# 【福岡】大分自動車道におけるピンポイント事故対策結果

## 平成29年度実験概要

○平成29年12月から韓国語と中国語の簡易情報板の設置やレンタカー貸出時、外国人の立ち寄りの多いサービスエリアでのチラシ配布により注意喚起を実施。

### ◆簡易情報板による注意喚起

- ・急ブレーキ多発区間に2基設置
- ・韓国語・中国語(繁体)とピクトグラムを1秒間隔で交互に標示

#### 【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】



#### 【②玖珠SA(大分方面)入口部】



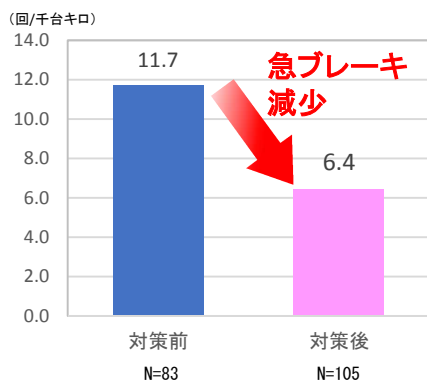
### ◆注意喚起チラシの配布(中国語版)

## 平成29年度実験結果

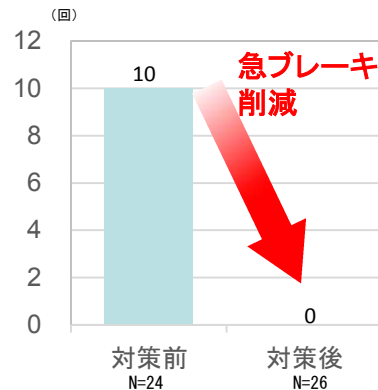
○対策実施により、速度低下や急ブレーキの減少が確認された。平成30年9月中旬より本設置。

### ◆急ブレーキ対策区間の効果

#### 【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】

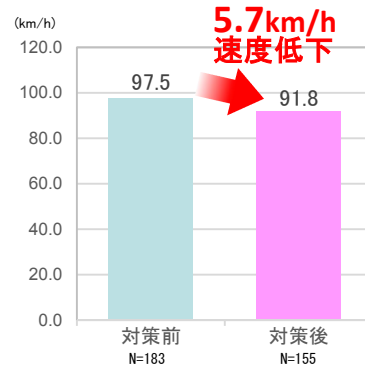


#### 【②玖珠SA(大分方面)入口部】

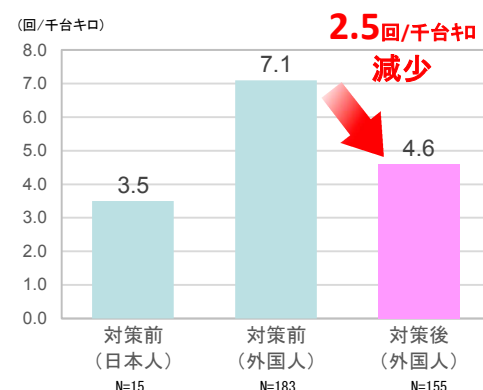


### ◆大分道全体(鳥栖JCT～別府IC)の効果

#### 【平均速度の比較】



#### 【急ブレーキ回数の比較】

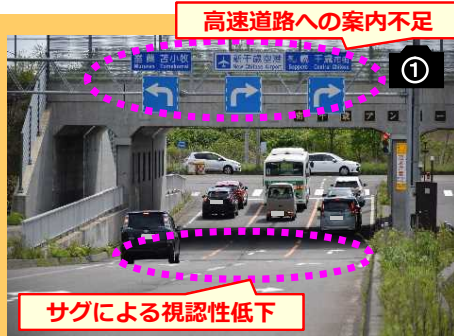


# 【新千歳】①R36×道道早来千歳線(美々駒里大通)交差点のピンポイント事故対策(案)

## ● 道道早来千歳線沿道のレンタカー会社を出発し、高速道路ICへ向う外国人レンタカーが最初に通る大きな交差点

### 【想定される要因】

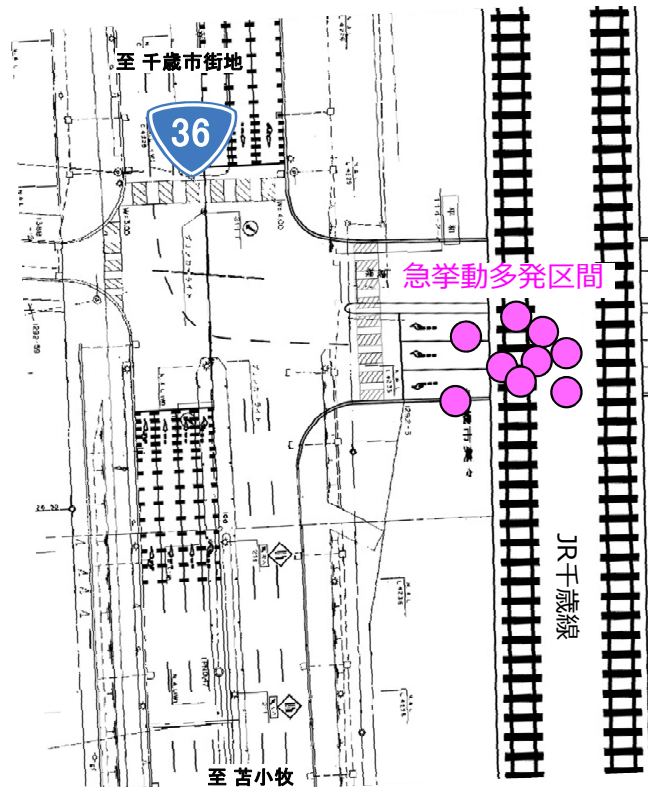
- ・ 構造物とサグ(\*)により見通しが悪く、信号交差点の視認性が悪い
- ・ 片側3車線道路であり、高速道路ICの方向が分らず無理な車線変更による急挙動が発生



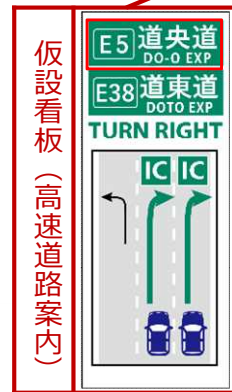
### 【対策】

- ・ 事前周知として、レンタカー会社へのチラシ配布
- ・ 高速ICへの案内や注意を促す仮設看板を設置

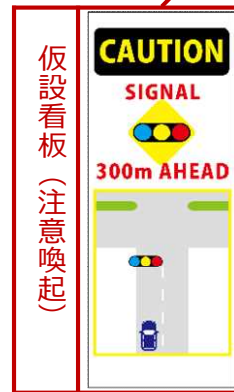
\*サグとは、下り坂から上り坂に差しかかる凹部のこと。



凡例  
● 急挙動発生地点



仮設看板 (高速道路案内)



仮設看板 (注意喚起)

赤信号での左折禁止や青矢印等の日本の交通ルールを周知

③信号が赤なら必ずSTOP!  
北海道には正面の信号が赤でも左折できる「左折フリー」の道路や交差点はない。正面の信号が赤ならば直進車はもちろん、左折車も全て停止しなければならない。とにかく信号が青になるまで待つ。

④青の矢印信号に従う!  
原則として正面の信号が赤ならすべての車は停車しなければならない。しかし、信号機の下または横に矢印信号がある場合は指示する方向に限ってはターンOKだ。右折の矢印信号が最も一般的だ。右折矢印が出たら、対向車に注意しながら速やかにターンしよう。この信号機がある場合、右折専用レーンがある場合が多い。

レンタカー会社

チラシ配布 (危険箇所・交通ルール)



# 観光地渋滞対策の推進

## 観光地域




※地域公募(H29)により選定(鎌倉、京都等)

### 訪日観光客の増加




### 頻発する交通渋滞



<h3>自動車</h3> <p>&lt;渋滞・事故の解消&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通需要マネジメント(TDM)</li> <li>■ 信号制御、交通規制 等</li> <li>■ パーク&amp;ライド駐車場整備 等</li> </ul>	<h3>歩行者</h3> <p>&lt;周遊環境の改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光施設の混雑情報提供</li> <li>■ 歩きやすい道路空間への再編</li> <li>■ 多言語による案内表示 等</li> </ul>	<h3>公共交通</h3> <p>&lt;利便性の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 乗換情報・位置情報の提供</li> <li>■ シャトルバスの運行</li> <li>■ 自動運転車の活用 等</li> </ul>
---	--	---

共通情報基盤(産学官連携)

ETC2.0等を活用した情報収集・制御



AIを活用した分析・予測

# 鎌倉エリア観光渋滞対策について

## 鎌倉市の現状

- 鎌倉市には年間2,000万人を超える観光客が来訪。
- 鶴岡八幡宮、鎌倉大仏等の観光地周辺で休日を中心に著しい交通渋滞が発生。



## 鎌倉市の提案

### これまでの主な取組

パーク&ライド

シャトルバス運行

バス専用レーン

鎌倉フリー環境手形



## 鎌倉ロードプライシング(仮称)



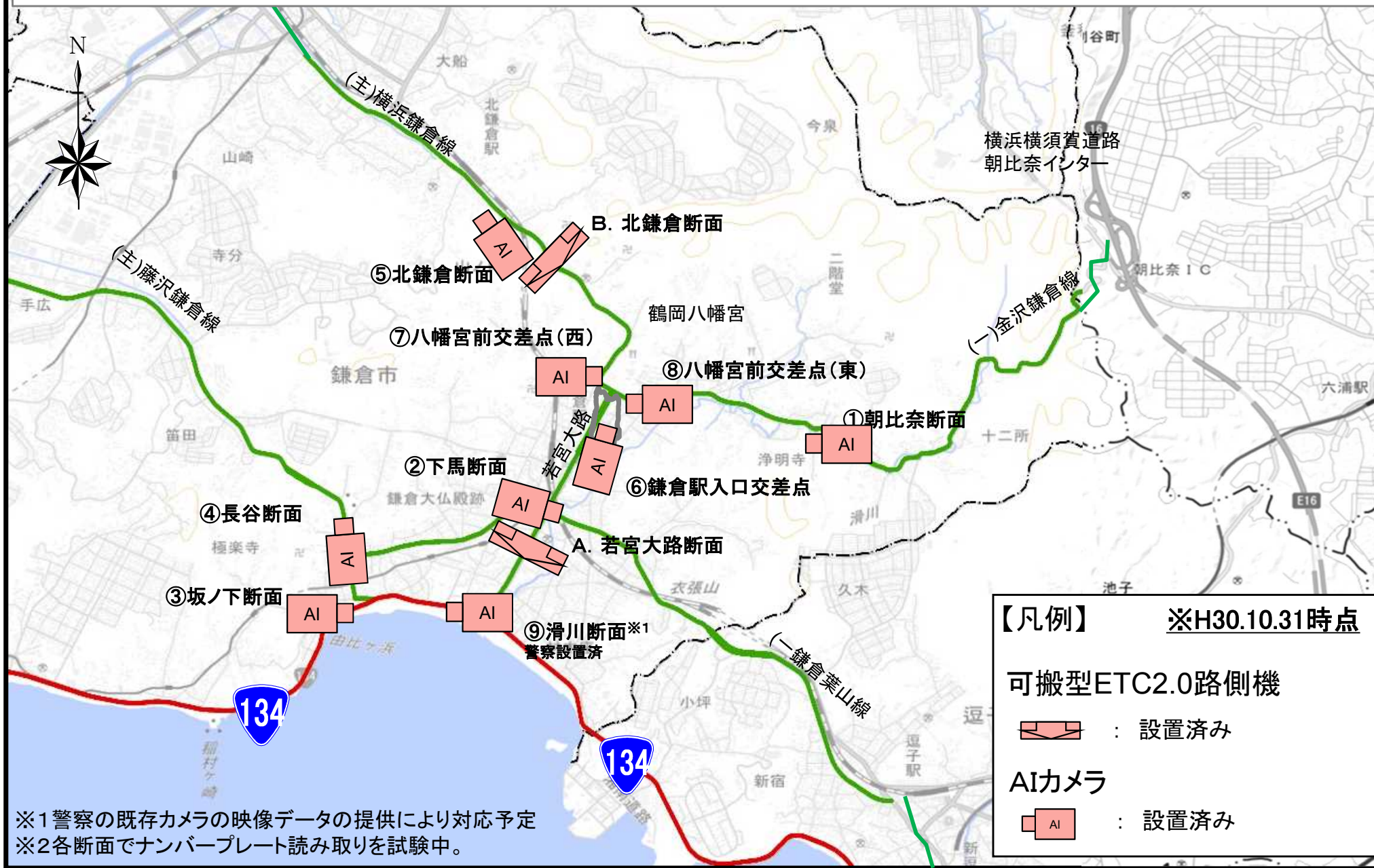
ETC2.0等を活用した交通分析や課金の仕組み等を検討

## 2020年の導入を目指す鎌倉市の取組みに対して支援

(観光交通イノベーション地域として選定し、有識者や国・県・市など関係者からなる協議会等で検討)

# 新たな機器の設置(設置位置図)

- 3月以降、鎌倉地域内で順次、観測機器を設置。
- 10月現在、ETC2.0可搬型路側機を2箇所、カメラを8箇所を設置し、データ収集中。



# 「新たな広域道路交通計画」の策定について

## I 今後の道路計画の主な課題 （現計画※はH6策定、H10以降未改定） ※広域道路整備基本計画

- 新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や、ICT・自動運転等の技術の進展を見据えた未来志向の計画が必要。

### 新たな国土構造の形成

- ・ スーパーメガリージョンの実現
- ・ 中枢・中核都市等を中心とする地域の自立圏の形成 等

### グローバル化

- ・ インバウンドへの対応
- ・ 国際物流の増加への対応 等

### 国土強靱化

- ・ 災害リスク増大への対応
- ・ 代替機能の強化の必要性 等

各交通機関との連携強化

ICT活用・自動運転社会への対応

## II 新たな広域道路交通計画の策定

- 各地域において中長期的な観点からビジョン、計画を策定（定期的に見直し）

「**平常時・災害時**」を問わない「**物流・人流**」の確保・活性化

(1)

**広域道路ネットワーク  
計画**



(2)

**交通・防災拠点  
計画**



(3)

**ICT交通マネジメント  
計画**

重要物流道路の指定・地域高規格道路等の広域道路ネットワークの再編 等